

平成28年度京都市基本計画市民アンケート調査項目

資料 2

長期的目標	基本施策	客観的指標	主観的指標	主観的指標の補足項目	
				質問内容	選択肢
(目標1) 持続可能な 発展が可能 となる低炭 素のまち	①省エネルギーの促進や再 生可能エネルギーの普及拡 大等による地球温暖化対策 の推進	温室効果ガス総排出量 削減率 (H2年度比)	(1) 豪雨や熱中症など地球温暖 化の影響と思われる危機が自 分たちの生活に迫りつつあると 感じるか。	地球温暖化対策に取り組むことによって、市民 の皆様の生活の質を向上させたいと思います か。 (生活の質の向上とは、生活が身体的、精神 的、経済的に満足し、豊かになることをいいま す。)	・そう思う ・まあそう思う ・どちらとも言えない ・あまりそう思わない ・そう思わない
			(2) 徒歩や自転車、公共交通機 関優先の取組が年々進んでい ると感じるか。	日頃から、徒歩や自転車、公共交通機関を優 先した移動手段を取っていますか。	・十分取り組んでいる ・ある程度取り組んでいる ・ほとんど取り組んでいない ・全く取り組んでいない
		エネルギー消費量削減 率 (H22年度比)	(3) 省エネルギーや節電の取組 みが年々進んでいると感じる か。	日頃から省エネに取り組んでいますか。	・十分取り組んでいる ・ある程度取り組んでいる ・ほとんど取り組んでいない ・全く取り組んでいない
		再生可能エネルギー導 入量	(4) 再生可能エネルギー導入の 取組が年々進んでいると感じる か。	—	—
(目標2) 自然環境と 調和した快 適で安全・ 安心なまち	①公害のない安全・安心な 生活環境の保全	大気汚染に係る市保全 基準達成状況	(5) 空気や河川の水がきれいに 保たれていると感じるか。	【(5)の主観的指標の質問の回答について】 なぜ、きれいに保たれている、もしくは、きれいに保た れていないと感じますか。(複数回答可)	「そう感じる、まあそう感じる」の場合 ・工場や自動車などからの排気ガスが改善 ・空のかすみ、夜に見える星の数が改善 ・工場や家庭からの排水が改善 ・河川における水のにごり、匂い、ごみの散乱の減少 ・その他(自由記述)
		水質汚濁に係る市保全 基準達成状況			「あまりそう感じない、感じない」の場合 ・工場や自動車などからの排気ガスによる影響 ・空のかすみ、夜に見える星の数が減少 ・工場や家庭からの排水による影響 ・河川における水のにごり、匂い、ごみの散乱による影響 ・その他(自由記述)
	②生物多様性の恵み豊かな自然環境の保全	京の生きもの・文化協 働再生プロジェクト取組 団体数	(6) 多様な生きものが生息する 良好な自然環境が保たれている と感じるか。	【(6)の主観的指標の質問について「どちらとも言えな い、そう感じない」と回答された場合】 多様な生きものが生息する良好な自然環境が 保たれていないと感じる理由は何ですか。 (複数回答可)	・開発等による自然の減少 ・森林、里山の荒廃 ・生きものの数や種の減少 ・外来種の増加 ・地球温暖化による環境の変化 ・その他(自由記述)
				あなたは、「生物多様性」という言葉を知ってい ますか。	・知っているし、意味も理解している ・知っているし、おおよその意味もわかる ・聞いたことがあるが、言葉の意味は知らない ・知らない・わからない
	③自然環境と調和した文化 や暮らしが広がる京都人ら しい快適生活の確保		(7) 自然環境と調和した文化や 暮らしが広がっていると感じる か。	【(7)の主観的指標の質問について「そう感じる、まあ そう感じる。」と回答された場合】 自然環境と調和した文化や暮らしとして、どの ようなものが広がっていると感じますか。(複数 回答可)	・自然豊かな都市景観 ・自然が身近にある暮らし ・自然環境と調和した祭事や伝統文化 ・和食や京野菜などの食文化 ・町家、木造建築などの住文化 ・「もったいない」の精神 ・しまつのこころ ・打ち水 ・門掃き ・その他(自由記述)

長期的目標	基本施策	客観的指標	主観的指標	主観的指標の補足項目	
				質問内容	選択肢
(目標3) 資源・エネルギーの有効利用と環境負荷の低減を図る循環型のまち	①2Rと分別・リサイクルの促進の2つを柱としたごみ減量の推進 ②廃棄物の適正処理とエネルギーとしての有効利用	①一般廃棄物(ごみ)の市受入量 ②ごみ焼却量	(8)マイバッグの携帯などのごみを出さない暮らしが広がっていると感じるか。	あなたは、日頃、マイバッグを利用していますか。 ・必ず利用している ・ある程度利用している ・あまり利用していない ・全く利用していない又はマイバッグを持っていない	
				3キリ(使いキリ、食べキリ、水キリ)について知っていますか。また、実践していますか。 ・意味を知っているし、実践している ・意味を知っているが、実践していない ・聞いたことがある ・知らない	
			(9)ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみの分別・リサイクルが進んでいると感じるか。	ごみの分別方法は分かりやすく周知されていると思いますか。 ・そう思う ・まあそう思う ・どちらとも言えない ・あまりそう思わない ・そう思わない	
				【前の質問で「そう思う」「まあそう思う」と回答した場合】 ごみの分別方法を調べる際は、何を利用されますか。(複数回答可) ・パンフレット・チラシ(広報物) ・窓口案内(エコまちステーション) ・市ホームページ・電話案内 ・地域の掲示板 ・その他	
			—	傷んだり壊れたものを捨てずに修理して使うことや、フリーマーケットの利用など、リユース(再利用)が暮らしに広がっていると感じますか。 ・そう感じる ・まあそう感じる ・どちらとも言えない ・あまりそう感じない ・そう感じない	
			—	イベントや催事において、リユース食器、リユースごみ箱の利用など、ごみの減量に配慮した取組が広がっていると感じますか。 ・そう感じる ・まあそう感じる ・どちらとも言えない ・あまりそう感じない ・そう感じない	
(目標4) 環境保全を総合的に推進するためのひと・しくみづくり	① 環境教育・学習を通じた理解と行動の促進及び人材育成	①環境保全活動プログラム参加者数 ②京の生きもの・文化協働再生プロジェクト取組団体数(再掲)	(10)学校や会社、地域で環境学習や環境保全活動の機会が増えていると感じるか。 (11)環境に配慮したライフスタイルが広がっていると感じるか。	あなたはどのような環境問題や環境保全の行動に興味がありますか。(複数回答可)	・二酸化炭素などの温室効果ガスによる地球温暖化 ・局地的豪雨などの気候変動による異常気象 ・太陽光発電などの自然エネルギーの普及拡大 ・節電などのエコ行動の徹底や地産地消の食生活の推進 ・省エネ製品の選択やすまいのエコ化 ・環境・エネルギー産業の創出や振興 ・自動車の排出ガスや工場などの煙による大気汚染 ・黄砂やPM2.5などの越境大気汚染 ・生活排水や工場で使用される化学物質による、川や池、地下水、土壌などの汚染 ・自動車や鉄道、工場からの騒音・振動、近隣からの生活騒音 ・工場や河川などからの悪臭 ・森や林などの緑や、自然の風景の減少 ・身近に生息する鳥や昆虫、魚などの生物の減少 ・身近にある川や池などの水辺との触れ合いの場所の減少 ・永い都市形成の歴史の中で形づくられた都市景観の変容 ・家庭や事業所から排出されるごみの減量や分別 ・そもそもごみを出さない発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)の促進 ・天然資源の使用を減らすための、資源物の再利用・リサイクル ・廃棄物の不法投棄、処分場などの施設の不足や新たな整備 ・環境教育や環境保全活動の推進 ・その他(自由記述)

長期的目標	基本施策	客観的指標	主観的指標	主観的指標の補足項目	
				質問内容	選択肢
(目標4) 環境保全を総合的に推進するためのひと・しくみづくり	① 環境教育・学習を通じた理解と行動の促進及び人材育成	①環境保全活動プログラム参加者数 ②京の生きもの・文化協働再生プロジェクト取組団体数(再掲)	(10)学校や会社、地域で環境学習や環境保全活動の機会が増えていると感じるか。 (11)環境に配慮したライフスタイルが広がっていると感じるか。	平成28年度中に環境学習、環境保全活動に関する講座や催し等に参加しましたか。	・はい ・いいえ
				京都市の豊かな自然環境を保全する活動について、参加したいと思いませんか。	・すでに活動している(個人、団体にかかわらず) ・機会があれば、自然保全活動をしてみたい ・実際の活動ではなく寄付金や地産食材の購入など、間接的な形で協力したい ・参加協力したくない・興味がない
				「DO YOU KYOTO?」という合言葉を知っていますか。	・知っている ・聞いたことはあるが、意味は知らない ・知らない
	②広範な主体の協働による環境保全活動の促進	KES認証保有件数	—	環境教育・学習や環境保全活動に関する情報が十分に発信されていると思いませんか。	・そう思う ・まあそう思う ・どちらとも言えない ・あまりそう思わない ・そう思わない
	③地産地消をはじめとする環境にやさしい社会経済のしくみづくり	—	(11)環境に配慮したライフスタイルが広がっていると感じるか。(再掲)	京の旬野菜や地域産木材の利用促進等の地産地消、環境負荷の少ない商品の購入など、環境に配慮した消費生活を意識していますか。	・意識している ・まあ意識している ・ほとんど意識していない ・全く意識していない ・意識していない
	④他都市との連携及び国際的な取組の推進	—	—	—	—
その他				(認知度の調査) 6月が環境月間であることを知っていますか。	・はい ・いいえ